

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：脳神経内科

コース責任者：仁木 均

研修期間：選択必修科（内科）として28週間のうち4週間
選択科として4週間から

I：一般目標 (GIO:General Instructional Objective)

- ・医師として望ましい姿勢・態度と基本的な診療能力を身に付け、脳神経内科医の役割を理解し、基本的な脳神経内科疾患に対応できる知識と手技を身に付ける。
- ・神経疾患の common disease を、さらに深く学習する。
- ・医療面接と神経学的診察から、論理的に病態を導き出すことのできる能力の獲得を、主な到達目標としている。

II：行動目標 (SBOs:Specific Behavioral objectives)

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 正確な病歴を聴取することができる。
- 2) 一般的な全身の観察、所見の記載、神経学に基づいて正確な診察を行うことができる。
- 3) 神経系の救急疾患に対して迅速かつ適切な対応ができ、指導医または上級医とともに治療にあたることができる。
- 4) 基本的な処置として意識障害患者の管理、気管挿管、人工呼吸器管理、けいれんの処置を行うことができる。
- 5) 症状や疾患について専門医へ適切なコンサルテーションを行うことができる。
- 6) 患者、家族に脳神経内科的検査・手技について適切な説明（症状、検査目的、内容、合併症）をすることができる。
- 7) 神経学的障害を持つ患者を理解し、医学的に支援をすることができる。

②主な基本的な臨床検査

- 1) 基本的な脳神経疾患診断に必要な検査の所見を理解し、判断することができる。

C. 主な症状・病態の経験

- ①研修の中心となるのは脳血管障害に対する対処法である。
- ②希望があれば以下の疾患を外来見学可とする。また、基本的対処法について知識を有する。

てんかん、パーキンソン病と類縁疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症）、重症筋無力症、多発性硬化症、視神経脊髄炎、認知症（アルツハイマー病、

レビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭葉変性症)、片頭痛・緊張型頭痛

Ⅲ：学習方法 (LS: Learning Strategy)

1) LS (方略) 1: On-the-job training

■ 主な病棟業務

- ・主治医を含む指導医または上級医の指導のもと、OJT を中心とした診療に参加する。指導医または上級医とともに診断・治療にあたる。
- ・担当患者の医療面接、身体診察や検査立案を行い、SOAP 形式で診療録に記録する。
- ・指導医または上級医の担当する患者を中心に入院患者の診断・治療などをチェックしてその適正判断及び修正を行う。原則として病棟回診を指導医または上級医とともに毎日行う。
- ・患者および家族と良好な人間関係を確立できるように努力する。
- ・看護師、薬剤師、管理栄養士、事務などと協力し、診療することが出来るように努力する。

■ 主な外来業務

- ・脳神経内科外来にて、指導医または上級医の指導のもと外来業務のシステムや手順を学ぶ。
- ・脳神経疾患の患者を指導医または上級医の支援を受けて共に診療に当たる。
- ・脳神経内科救急（意識障害、麻痺、失神、痙攣発作等）の患者を指導医または上級医の支援を受けて適切な診断・治療に当たる。

2) LS (方略) 2: カンファレンス・勉強会

- ・脳神経科カンファレンスで、担当患者の症例提示を行い、問題点や診療方針についての意見交換を行う。

3) LS (方略) 3: 学会・研究会・学術活動

- ・学術講演会や各種の院内研修（医療安全や感染対策など）に積極的に参加する。
- ・脳神経内科疾患に対する講演会や研修会に積極的に参加して知識を深めるとともに、学会発表や症例報告論文を作成する能力を身に付ける。

○週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 救急患者対応	カンファレンス 外来業務 (脳外科手術等)	カンファレンス 病棟業務 (脳外科手術等)	カンファレンス 外来業務 (脳外科手術等)	カンファレンス 病棟業務 救急患者対応
午後	病棟業務 救急患者対応	外来業務 救急患者対応 (脳外科手術等)	病棟業務 救急患者対応 (脳外科手術等)	病棟業務 救急患者対応 (脳外科手術等)	病棟業務 救急患者対応

IV : 学習評価 (EV : Evaluation)

PG-EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG-EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医による評価を受ける。
- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。